

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	地域子育て事業	コード	51101
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 子ども課	作成者 伊藤 恵
--------	----------	---------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	子育て支援	施 策	子育て支援の充実
		予算科目	地域子育て事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	児童福祉法第6条の2第3項		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 （簡潔に）	子育て家庭の支援のために、市民一人ひとりが子育てに関心や理解を深め、連携と協働を進めることで、積極的に子育て活動に参加できる体制をつくり、さまざまなサービスを充実させて、社会全体で子育て支援を推進する。	
目的	対象者	子どもおよび保護者、子育て家庭への支援者等
	意 図	子どもが健全に育成される社会となるよう、地域における子育て支援の充実を図る。

5 事業の実施内容

*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

<ul style="list-style-type: none"> 育児ファミリー・サポート・センター事業…社会福祉協議会に委託して実施。 ショートステイ事業…児童養護施設つづしが丘学園に委託して実施。 家庭児童相談事業…児童の生活習慣やしつけなど、家庭における児童の養育に関する心配や不安、悩みを持つ児童やその家族の相談を受けて、助言、指導、支援等を行う。 ことばの教室…児童とその保護者に対して、専門指導員（言語聴覚士）がことばの指導を実施（月8回）。 病児・病後児保育事業…児童が病気または病気の回復期で、集団保育の困難な期間、一時的にその児童を預かり、保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する。山崎医院に委託。 児童遊園整備補助事業…各地区管理の児童遊園について、整備にかかる補助金を交付。 子育て応援協賛店パスポート事業…県内共通の「ながの子育て家庭優待パスポート」を発行し、県内の協賛店舗での買い物時にサービスが受けられる。26年度からも継続して実施することになったことから、該当する全世帯（18歳未満の子どもがいる世帯）にカードを配布した。 子育て支援メルマガ配信事業…子育てに関するお知らせ、行事案内、子育てワンポイントアドバイスなどを、登録者にメルマガジンを月2回定期配信。 発達支援事業…未就園児を対象としたフォローアップ教室や講演会、保護者支援のための教室などを開催するほか、庁内関係部署や関係機関との連携強化を図った。また、育成支援コーディネーターや保健師が保育園等を訪問し、発達の気になる子どもの支援を行った。 「第3次岡谷市児童育成計画」「岡谷市子ども・子育て支援計画」策定事業…平成27年度からの5年間計画。子ども・子育て支援審議会からの意見を聞きながら策定する。（平成25年度は2回開催） 	前年度の課題への対応	アンケートなどから、岡谷市の子育て支援サービスの内容を知らない方が少なくないことから、メルマガを含め市民への周知方法については、継続的に検討していく。
---	------------	---

6 指標の達成状況

*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	育児ファミリー・サポート・センターの会員数			単位	人
実績値	368	449	537		
* 指標の説明	依頼会員、提供会員合わせた全体の会員数				
② 成果指標（指標名）	育児ファミリー・サポート・センターの利用延べ回数			単位	回
目標値	250	300	300	380	
実績値	272	241	341		
達成度	108.8%	80.3%	113.7%		
* 指標の説明	育児ファミリー・サポート・センターの利用延べ回数				
* 目標値の設定方法の説明	前年度実績を参考に設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	22,669,516	15,048,659	27,820,015	24,120,160
経常経費	20,220,881	14,463,518	27,204,862	20,213,160
臨時的経費	2,448,635	585,141	615,153	3,907,000
* 臨時的経費の説明	子育て応援パスポートに係る経費（H25）、児童遊園整備に係る経費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	12,400,000	12,400,000	15,600,000	15,600,000
正規職員の人数(人)	1.55	1.55	1.95	1.95
③ 合計コスト(①+②)	35,069,516	27,448,659	43,420,015	39,720,160
前年度比		78.3%	158.2%	91.5%
財源内訳				
一般財源	25,939,916	18,807,539	35,501,135	30,680,160
特定財源	9,129,600	8,641,120	7,918,880	9,040,000
* 特定財源の説明	H25年度：安心こども基金・H26年度保育緊急確保事業費補助金、保育対策等促進事業補助金(病児病後児)、病児病後児利用料、地域生活支援事業費補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	88,644	59,830	79,711	
前年度比		67.5%	133.2%	
⑤ コストに関する補足説明	24年度家庭相談員が2名から1名になった。 25年度より子育て支援事業（発達支援事業）、26年度は子ども・子育て支援計画事業が追加。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
長野県家庭児童相談員協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	2,000	1,000	1,000	1,000
児童遊園整備事業補助金	件数	1	3	2	3
	金額	10,500	28,125	171,950	315,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	12,500	29,125	172,950	316,000
	割合	0.06%	0.19%	0.62%	1.31%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	141.5%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	113.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	・さまざまな子育て支援事業が実施されている中で、子育て支援サービスを知らなかったということがないように、しっかりと周知していくことが必要となっている。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	・26年度より「子育て支援ガイドブック」を配布する予定となっていることから、おおいに利用していただくよう呼びかけていく。	
改善開始時期	平成26年4月～	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	C
-----------	--------	---	---